

災害時の対応について

東京学芸大学附属小金井小学校

1. 台風・大雪等の気象災害発生時の対応について

本校では、児童の安全確保のため、台風や大雪等の気象災害時は、以下のように対応します。

- (1) 雨量や風速、積雪量、交通機関等の状況により、登校時間を遅らせたり、臨時休校の措置をとったりすることがあります。その際、当日の午前6時までに学校が判断し、学校連絡網によりお知らせします。
- (2) 本校は通学区域が広いため、地域によって天候や交通機関の乱れ等が異なる場合があります。学校から上記(1)のような緊急連絡がなくても、安全を第一に考え、状況に応じて、ご家庭の判断で無理な登校は避けるようにしてください。自宅待機による遅刻・欠席は、通常の遅刻・欠席扱いにはなりません。
- (3) 普段使っている通学コースの公共交通機関が止まっている場合は、原則として登校を見合わせてください。
- (4) 登校後に天候の急変や交通機関の乱れが予想される場合は、その状況を学校で判断し、早めに下校させることがあります。予定した下校時刻と大幅に異なる場合には、学校連絡網によりお知らせします。

2. 大地震等の大規模災害発生時の対応について

首都直下型地震や南海トラフ地震等の大規模災害が発生し、公共交通機関が長時間止まった場合は、以下のように対応します。

(1) 在宅時に発生した場合

登校を見合わせ、自宅に留まります。

(2) 登下校時に発生した場合

児童の判断で、以下のように安全に気をつけて行動します。携帯電話を持っている場合は、保護者に電話をかけて相談することもできます。（「携帯電話を使ってよいとき」参照）

- ① 自宅まで安全に歩いて帰ることができる場合は、歩いて帰ります。
- ② 学校まで安全に歩いていくことができる場合は、歩いて学校へ向かいます。
- ③ 上記①・②のどちらでもない場合は、安全なところに留まり、保護者の到着を待ちます。

(3) 在校中に発生した場合

児童を学校に待機させます。大規模災害発生後、学校連絡網によるお知らせはありません。保護者の皆様は、速やかに児童の引き取りをお願いいたします。時間がかかっても、引き取りが完了するまで、児童を学校で保護いたします。

(4) 引き取り方法

予め作成した引き取り人名簿と照合・確認をしながら行います。名簿に登録された代理人とは、連絡方法、帰宅後の引き取り先や方法等について、十分話し合っておいてください。

(5) 携帯電話を使ってよいとき

携帯電話について、通常はランドセルの中に入れておき、使用することはできません。しかし、非常時は、以下の4点に限り、携帯電話を使用することができます。

- ① 地震や火災等の災害に見舞われたとき
- ② 交通機関等の事故に巻き込まれたとき
- ③ 犯罪や事件等に巻き込まれたとき
- ④ 体調不良やけが等のとき

(6)臨時休校の期間

大規模災害発生時、校長の定める日まで、学校は臨時休校とします。登校開始日は、学校連絡網によりお知らせします。

(7)大規模災害時の連絡方法

大規模災害時には、学校連絡網による情報発信ができないことが予想されます。その場合、本校のホームページで情報を発信いたします。学校の電話への個別のお問い合わせはご遠慮ください。また、大規模災害発生時には、学校連絡網によるお知らせはありませんので、速やかに児童の引き取りをお願いいたします。

3. J R 等電車事故発生時の対応について

J R 中央線快速電車等が止まり、児童が駅等に取り残された場合、以下のように対応します。

(1)児童が駅に取り残された場合

同じ駅に本校の児童がいたら、駅の改札口周辺の人通りの少ないところに一緒に集まり、静かに待ちます。ただし、改札口周辺が混雑している場合は、安全を優先して無理に動かないようにします。

(2)携帯電話を持っている場合

携帯電話を持っている人は、交通機関の事故のときは使用することができます。(上記「携帯電話を使ってよいとき」参照)